

「開発」と「保全」が共存する会社

取材
企業名

丸普窯業原料有限会社

高校名

豊川高等学校

○ 企業概要

- ・愛知県豊田市東郷町の山中に工場と鉱山を有する1952年創業の会社で、窯業原料を顧客に合わせて製造・ブレンドし、出荷販売しています。
- ・名古屋ドームの約4倍の採掘場は、アクション映画の撮影に使われそうなくらい広大で、圧巻でした。

○ 丸普窯業さんのSDGsへの取り組み内容

・在来種緑化プロジェクト

採掘を終えた土地に植樹を行う活動。木を切り拓き山を掘削した後、法面の整形、保護、管理、種子吹きつけ、植栽を行う。植物博士と採掘後の法面への植樹に適した植物の種類を研究。

・「松葉茶」の開発

採掘場に自生するアカマツの間伐材を使った「松葉茶」を開発。お土産品として道の駅などで販売。

・四季桜の保全活動

他社と連携した保全活動。イベントでのお土産販売の売り上げの一部を保全活動に寄付。

☆SDGsへの取り組みを始めたきっかけをお伺いしたところ、「採石業は地域の方々の理解が必要不可欠で、地域の方々と自社の互いの利益を考えるうちに、SDGsへの取り組みにつながっていった」とのことでした。



○ SDGsの取組をさらに進めていくための丸普窯業さんの今後の課題と展望

「企業の利益を最優先すると、地域の方や関連企業に嫌われる」という伊藤社長の発言が印象に残りました。行政の許可を得るために正しく申請し報告することは、私たちにとっては当たり前に思える働き方ですが、ルール通りに行うことは手間と時間がかかることを知りました。8/8の交流会で印象に残ったのが、「サステナブルのためには企業は利益を追わなければならない」という考え方です。「SDGsに取り組む企業」という看板が、どこまで世間に認知され共感を集めるのか今の僕たちにはまだ分かりませんが、SDGsの達成のためには「広く、浅く」の宣伝では理解が得られないのだと考えました。

今回の訪問で、僕たちを優しく楽しく迎えてくださったスタッフの皆さんの「直接的な温度感」が、一見、他人事や綺麗事に思える「SDGs」という崇高な理想を現実的なものを感じさせてくれるのではないかと思います。

今後、SDGsの取組をより広めるためには、企業の方は「実務作業」と「広報活動」の両面をこなさなければなりません。企業理念を世の中に周知すること、そして、そこから利益を得ることは非常に大変なことだと痛感しました。



○ その他

8月8日の交流会で伊藤社長は冗談めかして「環境破壊、森林伐採をする企業でーす！」とおっしゃっていました。実際に取材にお伺いする当日まで、私たちは「採石業＝自然破壊」という単純な構図を思い描いていました。

しかし、取材当日、丸普窯業さんにお伺いする道中の山道で「放置林」と言われる存在を目にしました。本校の先生が教えてくれたのですが、「人工的に作られた森は、人工的な管理（間伐）が必要」とのことでした。そうしないと、森林の水源涵養機能の低下にもつながることを知りました。

丸普窯業さんが行っている「開発」は、SDGsを意識することでより良い自然の「保全」につながっている、という意外な面を知りました。



○ 訪問取材の感想

私たちは、SDGsの11番目のゴール「住み続けられるまちづくりを」について調べるうちに、今回の交流の機会を得ることができました。私たちの研究テーマは「山間部の暮らしと平野部の暮らしのそれぞれの現状とこれからの問題点」です。奥三河の暮らしについても取材を行いましたが、丸普窯業さんへの取材でも感じた共通項は「開発」と「保全」という、全く違う性質のものが山間部には共存しているということでした。

平野部の暮らしを調べるために、「商店街のある暮らし」と「大型ショッピングモールのある暮らし」を比較しながら調べ学習を行いましたが、そこから浮かび上がってきたものは、「便利さを求めると、人と人との繋がりが希薄になってしまう」ということでした。SDGsの達成に必要なことは「自己の利益の追従」ではなく、「互いの利益の追従」なのだ強く感じました。伊藤社長の「地域の方々と私たちのWinWinの関係を築いていきたい」という言葉がとても印象に残りました。

○ 企業から高校生へのメッセージ

この度は、交流会を通じてご縁をいただき、また当社へもお越しくださり感謝いたします。片道80kmと遠路ではありましたが、頂戴した感想から熱量と気付きの数々が読み取れ、ご案内できたことを誇りに思っています。

営利企業は利潤があってこそ。しかしながら利己的な利潤は価値が低いという社会情勢も強まっています。

私たち丸普窯業原料は、豊田山間地域を力強く支える企業としてさらに成長し、SDGsの取り組みも達成し続けながら意義ある利潤を獲得していきます。そして、より良い社会を形成していくパートナーとして皆さんとともに行動し、明るく希望ある未来を築いていきます。ますますのご活躍を願っております。ありがとうございました。